

2017-B		V 36B			
拠出金・基金 の名称		OECD/NEA特別拠出金(TCOFF共同プロジェクト)			
種 別		☒ イヤマークのみ ☐ 一部イヤマーク			
【拠出先の国際機関名】経済協力開発機構/原子力機関 (OECD/NEA)					
【所管官庁担当局課・室名】文部科学省研究開発局原子力課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 本拠出金におけるプロジェクトは、福島第一原子力発電所(1F)の廃炉に向けた国際的な廃炉基礎研究の協力強化に向け、事故状況の推測に基づき、溶融した燃料の化学状態をより高精度に予測できる「熱力学データベース」(ある温度と物質の組み合わせでどういう化学反応が進むのかをまとめたもの)の整備を目的とする。これにより、1F廃炉に向け、大きな困難になると予想される燃料デブリの取り出しで懸念される材料科学的な課題の抽出と解決策検討等に資する。 我が国からの拠出金は、主にNEAへの派遣者に係る人件費、プロジェクト運営・活動費、大学等への国際競争的資金等に用いられている。					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ユーロ)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成29年度	34,062	279	—	1ユーロ=122円	0
平成28年度	28,250	206	—	1ユーロ=137円	0
平成27年度	—	—	—	—	—
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 当該国際機関において、福島第一原子力発電所の廃炉に向けて、国内外の英知を結集し国際協力による研究開発を推進するため、新たに「福島第一原子力発電所の原子炉内の燃料デブリや核分裂生成物の化学特性把握のための熱力学解析に関するデータベースの構築や解析に係る国際共同プロジェクト(TCOFFプロジェクト)」を実施。平成29年度は、NEAへの派遣者に係る人件費、プロジェクト運営・活動費等に使われた。引き続き、このプロジェクトの取組を支援していく。					
【備考】					